

高齢者は優遇されすぎ

日経ビジネス独自アンケート、世代間不公平への不満続出

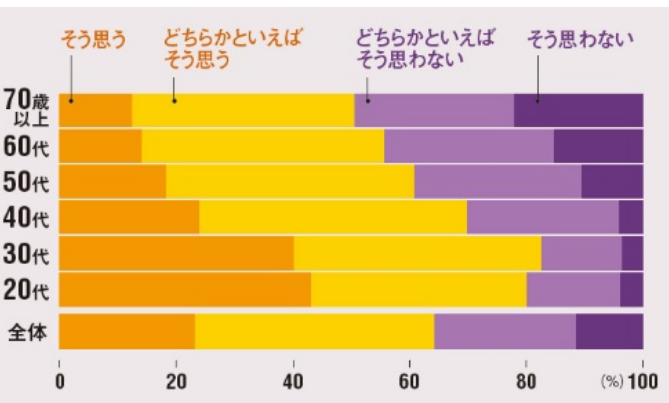
「しわ寄せは若い世代に」――日経ビジネス5月1日号の特集「さらば老害ニッポン」では、20代から70歳以上を対象に「世代間の公平性に関する意識調査」を実施した。若い世代ほど、高齢者の待遇に不満を抱えていることが鮮明に数字に表れた。

調査概要

「世代間の公平性に関する意識調査」と題し、2017年3月30日～4月7日にかけて、日経BPコンサルティングを通じてインターネットで調査した。有効回答数は961。世代別では20代が100人、30代が160人、40代が122人、50代が188人、60代が171人、70歳以上が220人、回答した。

優遇されすぎ！高齢者

Q.公的制度は高齢者を優遇しすぎか？



年金や医療、介護保険制度について「高齢者を優遇しすぎか」とアンケートに尋ねたところ、最も不満を持つ割合が高かったのは30代。82.5%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した。20代でも約8割、40代でも約7割が不満を抱えている。

全体では「高齢者の年金などを賄うための借金のツケを若い世代が負っている」(70.3%)が一番多く、「高齢者がもらえる年金額が今の若い世代が受給年齢に達した時より多い」(58%)と続く。

70歳以上は5割が肯定したものの、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計は49.6%と拮抗した。そう思わない理由は「日本の発展を築いたのは今の高齢者だから」(57.3%)、「若者もいずれ現行の社会保障制度の恩恵を受けるから」(27.9%)が多かった。

「そう思う」派のコメント

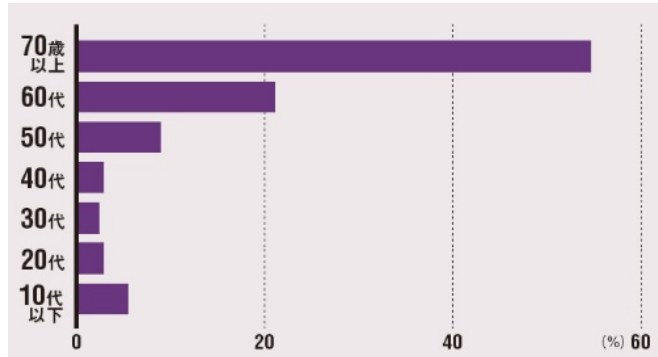
「交通費や医療費、年金など一事が万事、高齢者優遇」(28歳女性)
 「高度経済成長期に得た多額の資産をため込み経済を停滞させている」(33歳男性) 「今の日本に貢献したのは理解するが、現役世代が苦しいと社会が衰退する」(55歳女性) 「自分達の世代では支給すら見込めず、将来の備えをしたくてもできないから」(37歳女性) 「働けるのに年金を出す事自体が不公平であるから」(30歳男性)

「そう思わない」派のコメント

「年に比例して社会に貢献してきた」(73歳男性) 「私達はずっと働き社会を構成し支えてきた。そこインフラにあるからこそ若者が自由に生きられている。年金も十分払ってきた」(62歳女性) 「高齢者が優遇されなければ将来が不安になるだけだから」(62歳男性) 「高齢者を優遇しているのではなく若者が冷遇されているだけ」(55歳男性) 「高齢者である自分自身、優遇され過ぎていると思ったことはない」(68歳男性)

不満と不安がたまる若い世代

Q.現在の経済・社会的な境遇で最も恵まれているのはどの世代か？



最も恵まれていると思われる世代は断トツで70歳以上だった。これはすべての世代で共通。背景には、「高齢者でも収入や資産に応じて負担を増やすべきだ。このままでは、制度自体が破綻する」(66歳男性)、「余裕のある高齢者もたくさんいる」(51歳男性)など、社会保障で支えなくても生活できる高齢者の存在がある。高齢者からも「確かに若い世代は大変だと思う」(73歳男性)との声上がる。

実際、総務省の家計調査(2015年)によると、世帯主が70歳以上の世帯当たりの貯蓄は平均2389万円、60代は2402万円。50代の1751万円、40代の1024万円、40歳未満の608万円を大幅に上回る。しかも、40代以下は住宅ローンなどを抱えており、負債が貯蓄を上回っている。

老後の不安、もらえない年金へのジレンマ...

調査では、社会保障制度全般について自由な意見も募った。有効回答数の半分以上の約500人から、自分の老後への不安や制度改正の提案など、様々な意見が寄せられた。一部を抜粋する。

20代

「年金を払っていても自分はいくらもらえるのかわからず不安で仕方ない。うえ、社会保険料は年々上がってきており、なかなか貯蓄に回せるお金がない。保険料も20代や30代はあまり病院にかかっていないと思うので健康保険料を安くしてほしい」(29歳女性)

「自分が高齢者になる頃はどれほど悲惨になっているのか、恐ろしく思う」(25歳女性) 「人口が増え続けていた頃からの制度のまま運用されており、今の社会での有効性を失っている」(27歳男性)

30代

「同年代の間で、年金はもらえないもの、というのは合言葉になっている。年金は考えずに投資・運用をしないといけない意識があるので、贅沢をしていられない」(30歳女性) 「体調不良で病院(特に整形外科)に行くと、必ず井戸端会議のお年寄り軍団に出くわす。絶対に必要な人だけ行っているようには見えず、子育て世代の貴重な財源が削られているかと思うとやるせない」(35歳女性)

40代

「終身雇用制度はほぼ崩壊しており、収入を得られなくなるリスクは今の高齢者の時代よりもずっと高い。現在年金を払っている人には確実にそれに見合った年金や社会保障が得られる仕組みを継続し、真面目に働き、年金を支払っている人が馬鹿を見ないことを祈っている」(41歳男性) 「払った額に対して受け取る額がマイナスになることがわかっていながら納めなければいけないというジレンマは、いつも感じている」(43歳女性)

50代

「65歳からを高齢者として制度が作られています、これを75歳からに変えてもよいのではないのでしょうか？」(59歳男性)